

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1 シティプロモーション専用ページのページビュー数	件	99,895	R2	134,025	229,135	236,243		125,000
2 支援を受けて住宅を取得した子育て世帯数(累計)	世帯	—	—	10	23	36		40
3 移住相談等を通じた移住件数(累計)	件	41	R2	89	116	148		190
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 移住・定住の促進に関する取組が充実している	重要度		1.00	0.85	移住促進等の取り組みに関する市民満足度の低さについては、市民への移住者数等の実態の見えにくさや、定住施策・住み良さに関する効果的な情報発信が十分でないこと等が考えられる。そのため、それらへの効果的な対応が必要である。
	満足度		▲0.56	▲0.70	
2	重要度				
	満足度				
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 戦略的なシティプロモーションの推進	専用ホームページでの情報発信、県東京事務所でのPR、職員研修を行った。今後も、市内外への情報発信を継続するほか、横断的な庁内連携を展開していく必要がある。
② 若者・子育て世帯の定住促進	みえ出逢いサポートセンターと連携し、市のイベントに合わせて婚活イベントを実施するとともに、若年層の活動を支援する事業を実施することで、若者や子育て世代の定住促進を図った。
③ 移住交流の促進	移住フェアへの積極的な参加やSNSを活用した情報発信に加え、DOMAプロジェクトの実施により、本市の魅力に触れる機会が増え、関係人口も着実に増加しており、長期的な観点から移住者数の増加が見込まれる。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>戦略的なシティプロモーションの推進では、第2期亀山市シティプロモーション戦略に基づき、専用ホームページにより市の魅力を積極的に情報発信した結果、そのページビュー数が順調に伸びている。また、若者・子育て世帯の定住促進では、市独自の住宅取得支援制度を活用し、子育て世帯・13世帯に住宅取得支援を行ったほか、「みえ出逢いサポートセンター」と連携し、出逢いや結婚を希望する方に対し情報提供等を行った。さらに、移住交流の促進では、定住支援員を配置した移住相談窓口を通じて、移住希望者に対するきめ細かな相談対応を図ったほか、都市部での移住フェアや三重県主催の移住相談会等へ積極的に参加するとともに、「移住・交流促進アドバイザー」による都市圏での本市のPRや移住相談の実施やInstagramを活用した情報発信を実施した。また、関宿の旧荘司家を拠点とした関係人口の創出を目指す「DOMAプロジェクト」の展開や移住者交流会の開催、移住希望者に市内を案内する「かめやま暮らしめぐり」の実施により、移住へとつなげる様々な交流の場づくりを行い、本市が移住先等にも選ばれるよう努めた。これらにより、令和6年度の本市への移住人口は、潜在的なものまでは把握できないものの、三重県への報告値としては79名・32世帯であり、コロナ禍から一定数を確保し続けている状況である。今後も本市が選ばれるまちとなれるよう、様々な機会を通じた市の魅力発信や交流の場づくりが求められるが、そうした取り組みにおける雇用・子育て・住宅・観光など分野横断的な視点の組み合わせや調整がさらに必要である。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>まずは進んだ</p>
--	---

今後の展開方針

戦略的なシティプロモーションの推進については、専用ホームページ等の様々な媒体や関係人口を介し、本市の多彩な魅力や良質な都市イメージの情報発信を強化するとともに、一層、総合的かつ効果的なシティプロモーションの展開に向け、その事業形成の在り方も含めた検討を進めていく。また、若者・子育て世帯の定住促進については、住宅関係部署との連携を強めながら、住宅取得支援制度や空き家バンク制度登録物件のPRに努め、定住促進につなげていく。さらに、移住交流の促進については、DOMAプロジェクトの展開によるワークショップの開催や地域イベントへの参画など、交流の場の拡充を図っていくとともに、観光・農業等他分野と連携した効果的な取り組みについて検討を深めていく。